

弘経寺だより

発行所

寿亀山弘経寺

〒303-0041

常総市豊岡町甲1

Tel.0297-24-0895

年の瀬の想い 主管 金田大祐

イチヨウの木が身に纏っていた葉をすつかり落とすと、弘経寺の庭に降り積もった葉は金色の絨毯になる。毎年、この金色の絨毯と共に弘経寺に冬がやってくる。夏のむせかえるような若葉の薫りも好きだが、私は冬の朝の境内に満ちている凍るようなキリリとした空気が好きだ。暖かな春や夏ばかりでなく、厳しい寒さの中にも冬の装いを楽しませてくれる弘経寺の自然はまさに「恵み」である。

私は「挑戦すること」に魅力を感じる。ハワイへ行った時も、アイルランドへ行った時も、陶芸の世界へ飛び込んだ時も、ここ飯沼弘経寺へ来た時も、私は何か新しいことに対する期待で、ワクワクドキドキした。

人は一人では生きられない。人間の存在そのものが一人ではありえない（父母や祖父母、御先祖がいなければ自分はここに存在し得ない）のだから、それは真実である。しかし、死ぬ時、人は孤独である。極楽浄土へは誰

も一緒には行ってくれない。一人で旅立たなければならぬ。

もしかしたら、「死ぬ」ことも一つの「挑戦」なのかもしれない。経験した事のないことに臨み、行ったことのないところへ一人で旅立って行くのだから。

今年は私個人にとって、人生の中で最も思い出深い年の一つとなった。弘経寺本堂の落慶式が行われた年として私の記憶にいつまでも残ることだろう。本堂改修工事や落慶を通して、沢山の素晴らしい出会いがあった。しかしその一方で、この一年の間に悲しい別れもあった。

出会いと別れ、生きることと死ぬこと。この二つの相反する真実を抱えながら、私達は生きていく。「来年はどんな年になるのだろうか？」年の瀬にはいつも、こんな不安と希望が入り混じった心地になる。でも、どんなことが起こるか分からないからこそ、ワクワクドキドキする。喜びも悲しみも、良

いことも悪いことも、すべて「恵み」として受け入れられるような強い人となることを願って、新しい年を迎えたい。

大本山増上寺御法主 成田有恒台下
表葬儀

十一月四日午後二時、大本山増上寺第八七世法主 成田有恒台下 表葬の儀が、総本山知恩院門跡浄土門主坪井俊映猊下御導師のもと、増上寺大殿にてしめやかに営まれました。

石塚良政さん、飯田喜一さん、五木田芳夫さん、渡辺武徳さん、飯田孝夫さん、海老原泰治さん、海老原正美さん、石塚丞さん、金田主管の八名が別院弘経寺を代表して参列しました。成田有恒大僧正台下を偲び、特に弘経寺にとりましては本堂落慶に際しましての一方ならぬご教導に感謝し、参列者一同心からのお念仏を手向けました。

増上寺新法主に八木季生台下御就任

先般御遷化された成田有恒台下の後任に、大本山増上寺教監 東京教区豊島組一行院住職 八木季生上人が第八十八世法主として、十一月二十一日に開かれた第三回法主推戴委員会にて満場一致で推戴されました。

新法主台下の略歴は以下の通りです。
生年月日 昭和四年六月二日 満七九歳
昭和六二年 東京教区教化団長
平成 七年 浄土宗東京事務所長
平成二二年 増上寺布教師会会長
平成一四年 増上寺布教師会副会長
平成一六年 増上寺教監
尚、一月二六日に関係者参列のもと入山式が執り行われました。

弘経寺十夜法要

去る十一月十八日、弘経寺本堂にて十夜法要が営まれました。新本堂が立派に完成しましたので、今年から百万遍数珠繰が復活しました。水海道部内御寺院の御住職方と参列されたお檀家の方々が輪になって大数珠を繰りながら、九月六日に御遷化された大本山増上寺大僧正成田有恒台下、江口定信弘経寺前任職御三回忌のご回向、そして、弘経寺有縁の先亡諸精霊のご回向をしました。

百万遍数珠繰は弘経寺に伝わる大事な伝統行事です。来年も十夜法要等の法会で営みますので、是非ご参列ください。

浄焚式

● 日時 平成二十年十二月三十一日
午後十一時

● 場所 飯沼弘経寺 境内

● 浄焚式では、古損した仏像、経巻、位牌、御札等をお浄めして、お焚き上げいたします。お焚き上げてほしいものがございましたら、当日の午後十時半に弘経寺（〒〇二九七二四〇八九五）へ持つてきてください。

修正会

修正会というのはお正月に修する法会のことです。この修正会は新しい年をお祝いするとともに、世界の平和、そしてこの一年皆が幸せになるようにお祈りします。

● 日時 平成二十年十二月三十一日 午後十一時五〇分

● 場所 本堂

初薬師

「薬師堂」は徳川千姫様の所願により建立されたと伝えられています。護摩木祈願とはこの薬師堂内に安置される薬師如来に、皆様のお願いを護摩木に書いて御祈願するものです。

御祈願の日程等は左記の通りです。是非ご参拝ください。

● 日時 平成二十一年一月三日(土)

午前十時

● 場所 弘経寺「薬師堂前」

● 申込方法 同封の申込用紙に「記入の上、冥加料(一件につき五〇〇円)を添えて、当日ご持参いただくか、当日いらつしやることのできない方は現金書留にてお申し込みください。

江口定信前住職 三回忌

十一月二十八日午後二時、当山第八六世住職 江口定信上人の三回忌が増上寺執事 石田祐寛上人御導師のもと、浦安大蓮寺(江口隆定住職)にて営まれました。当山からは金田主管が弘経寺を代表して参列いたしました。

● 四月の落慶式後、檀家は勿論、大勢の参拝者に新しい本堂の完成を喜んでいただいていることの御報告をお念仏の声にのせて、江口前住職の御霊前に奉げさせていただきました。

弘経寺山林整備

十二月七日午前九時から境内裏山の整備作業が行われました。作業のために汗を流して下さったのは本田弘さん、石塚良政さん、飯田喜一さん、五木田芳夫さん、飯田孝夫さん、稲葉威穂さん、海老原泰治さん、石塚丞さん、飯沼静夫さん、片岡蕃さんの十名でした。また、お昼にはおいしいとん

汁を飯田すみさんに差し入れしていただきました。

お陰様で、本堂も立派になり、裏山も整備されつつありますので、弘経寺へお参りにいらつしやる方が増えていきます。この度作業にご参加いただきました皆様、本堂にありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。

十八檀林霊場会総会

十二月九日午後六時、かつて浄土宗の学問所として定められていた関東十八檀林の各寺院代表者が集まり、東京の八重洲富士屋ホテルにて「関東十八檀林霊場会」総会が開催されました。金田主管が別院弘経寺を代表して出席しました。

会長に長谷川匡俊大蔵寺住職、事務局長に長谷川俊哉同副住職、顧問に大本山増上寺の八木季生法主、大本山光明寺の宮林昭彦法主が就任され、今後の事業計画等が話し合われました。

「平成二十三年法然上人八百年大御忌に向けて、信仰強化、活動や事業を流動的に展開することができないかと考え、先人達が行ってきた十八檀林霊場巡りを新たに展開したい」という設立理念のもと、今後他の檀林の御寺院が一丸となって会を発展させて

ゆくことが期待されます。

清掃当番

十一月十六日(日)溜井、水海道地区の皆様にお寺の境内・堂内をきれいに清掃していただきました。ありがとうございます。

また来年も、よろしく願います。

浄財勸募のご報告

平成二十年十一月までに七〇、四一五、三四二円

の本堂改修工事のためのご浄財が集まりました。ご協力ありがとうございました。引き続きご支援のほど、お願い申し上げます。

お悔やみ

阿弥陀様の慈光の中、次の方が極楽へ往生されました。

一〇月二日	石井森之助殿	八六歳
一〇月一八日	飯田有二殿	八九歳
十一月四日	古谷水三殿	七五歳
十一月七日	西山茂殿	七四歳
十一月八日	落合礼子殿	七九歳
十二月二日	海老原国枝殿	八七歳

開法蔵 (一)

飯沼弘経寺の開山上

人から当代住職（八十七世）に至るまでの歴代住職の法名を表に記しました。

千姫様に浄土宗の戒を授けた了学上人、累のたたりを鎮めた祐天上人も飯沼弘経寺の歴代住職としてその名を残しています。

開山	聰蓮社嘆誉上人良肇大和尚	一八世	直蓮社玄誉森阿上人万無大和尚	三六世	正蓮社堅誉不却上人往の大和尚
二世	聖蓮社了暁上人慶善大和尚	一九世	合蓮社明誉檀通大和尚	三七世	名蓮社称誉上人圓阿真察大和尚
三世	傳蓮社曜誉上人西冏大和尚	二〇世	曲蓮社貴誉天爾上人万量大和尚	三八世	任蓮社運誉仰故信阿上人和春大和尚
四世	曜蓮社一誉愚得上人宗悦大和尚	二一世	性蓮社全誉茂産大和尚	三九世	入蓮社走誉大僧正一阿連察大和尚
五世	星蓮社鎮誉魯耕上人祖洞大和尚	二二世	正蓮社真誉感栄大和尚	四〇世	速蓮社就誉辯良大和尚
六世	一蓮社堯誉上人還魯文宗大和尚	二三世	信蓮社生誉靈玄大和尚	四一世	迎蓮社聖誉騰雲大和尚
七世	各蓮社見誉上人退堂善悦大和尚	二四世	入蓮社流誉願海故岩大和尚	四二世	遣蓮社喚誉慈風雲頂大和尚
八世	堯蓮社宣誉上人真我祖白大和尚	二五世	念蓮社貞誉了世大和尚	四三世	嚴蓮社麗誉善阿上人自爾順真大和尚
九世	宣蓮社檀誉九五上人存把大和尚	二六世	用蓮社寂誉上人實道是真大和尚	四四世	潤蓮社曹誉上人慈孝澤真大和尚
九世	道蓮社玄誉上人善慶天機大和尚	二七世	信蓮社詮誉白玄大和尚	四五世	聖蓮社神誉上入悟心冲阿靈妙大和尚
一〇世	團蓮社照誉上人遊岳了学大和尚	二八世	真誉路繼上人円意大和尚	四六世	心蓮社歆誉上人喜受辯秀大和尚
一一世	良蓮社南誉慈眼上人雪念大和尚	二九世	真蓮社證誉独清上人雲臥大和尚	四七世	金蓮社覺誉上人如阿教意大和尚
一二世	深蓮社心誉上人文宗大和尚	三〇世	明蓮社顯誉祐天大和尚	四八世	到蓮社典誉上人清阿知瑛大和尚
一三世	法蓮社住誉上人以傳大和尚	三一世	正蓮社覺誉猶海上人意哲大和尚	四九世	清蓮社浄誉円海大和尚
一四世	南蓮社辯誉無極上人利山大和尚	三二世	玄蓮社盛誉湛栄上人良松大和尚	五〇世	稱蓮社観誉上人遇光了傳大和尚
一五世	源蓮社玄誉上人知鑑大和尚	三三世	本蓮社然誉上人沢春大和尚	五一世	大蓮社現誉上人身阿満空在心大和尚
一六世	源蓮社真誉相閑大和尚	三四世	證蓮社学誉上人生阿冏鑑大和尚	五二世	誠蓮社實誉上人聖阿興玄大和尚
一七世	生蓮社乘誉涼風珂天大和尚	三五世	海蓮社性誉運岸大和尚	五三世	法蓮社性誉本阿大空妙瑞大和尚

七一世	行蓮社慈譽上人善阿修徳彦孝大和尚			
七〇世	正蓮社因譽上人浄阿進業大順大和尚			
六九世	神蓮社洞譽上人信阿慧力專達大和尚	八七世	楠美知仁上人	楠美知仁 上人
六八世	轉蓮社法譽上人輪阿一道在融大和尚	八六世	煌夢洞院純蓮社眞譽上人念阿慈光定信上座大和尚	江口定信 上人
六七世	百蓮社竺譽上人唯阿秦問大和尚	八五世	楞嚴心院勇蓮社哲譽上人覚阿精進善雄上座大和尚	野口善雄 上人
六六世	貫蓮社綜譽上人練阿諦山大和尚	八四世	光闡心院深蓮社諦譽上人念阿法海幸進上座大和尚	野呂幸進 上人
六五世	誠蓮社諦譽上人超阿哲敵大和尚	八三世	青巖光院眞蓮社實譽上人誠阿至道徹隆法務大和尚	廣本徹隆 上人
六四世	憲蓮社章譽上人眞阿智典大和尚	八二世	金剛法院行蓮社精譽上人道阿不染明進上座大和尚	金田明進 上人
六三世	信蓮社常譽上人頼阿念我大和尚	八一世	最勝光院寛蓮社教譽上人明阿知見了道上座大和尚	宮嶋了道 上人
六二世	光蓮社明譽上人撰阿德翁大和尚	八〇世	清浄光院深蓮社正譽上人念阿光山明道上座大和尚	光山明道 上人
六一世	圓蓮社功譽上人在阿念成大和尚	七九世	無上心院眞蓮社一譽上人法阿二空達雄法務大和尚	里見達雄 上人
六〇世	徳蓮社戒譽上人見阿時習定学大和尚	七八世	深蓮社法譽上人忍阿不退道貫大和尚	豊島道貫 上人
五九世	等蓮社迎譽上人海阿通玄貞敵大和尚	七七世	嘉藤兼静上人	嘉藤周静 上人
五八世	乘蓮社運譽上人眞阿観善大和尚	七六世	聖蓮社法譽上人念阿紫岳登峰玄徹大和尚	嘉藤玄徹 上人
五七世	曼蓮社丈譽應阿遊浄澤亮大和尚	七五世	福聚海院柔蓮社順譽上人忍阿無生大英上座大和尚	桑原大英 上人
五六世	宝蓮社熏譽香阿在禪大和尚	七四世	現蓮社紅譽観琇大和尚	
五五世	體蓮社聖譽上人心阿具堂靈麟大和尚	七三世	常蓮社在譽禪純大和尚	
五四世	龍蓮社利譽円徹大和尚	七二世	法蓮社志譽上人貫阿無礙学翁大和尚	

第七九世の代より弘経寺は大本山増上寺の別院となり、弘経寺の住職は増上寺の執事長が兼務することとなりました。